

## 家庭科学習指導案

### 題材名「生活を支える物やお金」〔学指要領：C(1)〕

令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 第〇校時 家庭科室  
〇〇立〇〇小学校 〇年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

#### I 題材の構想

##### 1 題材の目標及び児童の実態

|              | 目 標  | 児童の実態  |
|--------------|--|--|
| 知識及び技能       | <ul style="list-style-type: none"> <li>買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方を理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活・環境についての学習には初めて取り組むため、これらに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるようにする必要がある。</li> </ul>                         |
| 思考力、判断力、表現力等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いを通して生活の中から問題を見いだして課題を設定することはできるが、解決に向けて実践した結果を振り返って改善点を考えたり、それを次に生かしたりすることは十分にできてはいない。</li> </ul> |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を通して身に付けた資質・能力を生かして家庭での実践をしたり、製作したものを家族に贈って共に使ったりして、家族とのつながりを深める喜びや楽しさを感じている児童が多い。</li> </ul>  |

##### 2 評価規準

|               |   |
|---------------|---|
| 知識・技能         | <ul style="list-style-type: none"> <li>①買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。</li> <li>②身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> </ul>   |
| 思考・判断・表現      | <ul style="list-style-type: none"> <li>①身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>②身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。</li> <li>③身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり改善したりしている。</li> <li>④身近な物の選び方、買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</li> </ul> |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</li> <li>②物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</li> <li>③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>   |

##### 3 指導及び評価の計画 ※別紙参照

##### 4 題材の価値

本題材では、現金による店頭での購入場面を想定し、自分や家族に身近な物をよく吟味して選ぶ模擬購入の活動を2回設定する。児童にとって経験のある、現金による店頭での買物場面を扱うことで、買う人(消費者)の申し出と売る人の承諾によって日常行っている買物が、売買契約であることを体験的に理解することができる。1回目は、自分が使うペンケースを購入する場面を設定する。ペンケースは、全員が毎日使う物であることから、実際の生活場面での活用を想定した物の選び方や買い方を考えることができる。2回目は、家族が使うトイレットペーパーを購入する場面を設定することで、自分だけでなく家族の生活とも結び付けて考えようとする意欲を高めることができる。さらに、トイレットペーパーは再生不能であるため、環境の視点からも身近な物の選び方や買い方を考えることができる。購入する商品を変えて模擬購入を2回行い、身近な物の選び方や買い方を考えることや、情報を収集・整理することを繰り返すことで、これらに関わる知識や技能を身に付けられるとともに、1回目の模擬購入した結果を振り返って改善点を考えたり、それを次の模擬購入に生かしたりすることができる。そして、消費者としての自覚を持ち、日常生活で適切な消費行動をとる力を高めることにつながる。

II 本時の学習（1／5）

- ねらい 物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合うことを通して、学習課題をつかみ、解決するための学習計画を立てることができる。
- 展開

| <p>主な学習活動<br/>予想される児童の意識〔S〕</p>  | <p>○指導上の留意点<br/>◆評価項目（観点）</p>  |
|--|--|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;めあて&gt;<br/>アンケートの結果をもとに話し合って課題を設定し、解決するための学習計画を立てよう。</p> </div> <p>S：新しい学習に入るときは、いつも学習課題と学習計画を立てるから、今日もみんなで話し合って決めよう。</p>  | <p>○家庭科の問題解決的な過程を意識して学習に取り組めるように、題材の導入である1時間目に行う活動と本時のゴールを問いかける。</p> <p>○問題を見いだして課題を設定し、解決に向けた学習計画を立てるといった目的意識を持つことができるように、事前に行った消費生活に関するアンケートの集計結果を提示する。</p>  |
| <p>2 アンケートの結果をもとに、物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について話し合い、問題を見いだす。（20分）</p> <p>S：自分たちのアンケート結果を見ると、「買ってしまってから家に同じ物があることに気付いた」や、「お店で見たときは欲しいと思って買ったけど、その後はほとんど使っていない」という失敗を答えている人が、自分のほかにもいるな。</p> <p>S：家の人のアンケート結果にある「買った物が別のお店でもっと安く売っていた」というのはありがただから、防ぐにはどうするといいいかな。</p>  | <p>○自分たちの物や金銭の使い方の特徴を客観的に捉えられるように、保護者にも児童の物や金銭の使い方を尋ねるアンケートを実施し、集計結果を用意しておく。</p> <p>○物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について問題を見いだすことができるように、今の自分にできること、まだできないこと、できるようになりたいことなどを視点に、事前アンケートの結果を見て気付いたことや普段の物や金銭の使い方を伝え合うよう助言する。</p>   |
| <p>3 見いだした問題を基に課題を設定し、課題を解決するための学習計画を立てる。（15分）</p> <p>S：友達が言うように、買物に失敗するとお金も物も無駄にしてしまうから、失敗しない買い方をできるようにしたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;課題&gt;<br/>自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのように買物をしたらよいだらうか。</p> </div> <p>S：これまでの製作や調理の学習では、練習→本番→家庭実践→振り返りの順で学習してきたから、同じように考えればいいのではないかな。</p>                                    | <p>○見いだした問題を共有し、自分たちが追究していく課題を検討できるように、児童の意見を整理して板書する。</p> <p>○自分たちが立てた課題を解決するための学習計画を決めることができるように、これまでの学習で課題を解決してきた経験や具体的に行ってきた活動を想起するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目（思①）<br/>学習プリントの記述内容や発言から、「身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、解決するための学習計画を立てているか」を評価する。</p> </div> |
| <p>4 本時の学習の振り返りをする。（5分）</p> <p>S：自分が使う物と家族が使う物で買い物のシミュレーションを2回することにして、1回目を練習、2回目を本番とするという友達の考えを聞いて、確かにそれがいいと思った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;振り返り&gt;<br/>S：今日の授業では、これまでよりも、練習と本番の学習内容を考えるのが難しかったな。それでも、みんなと話し合うことで、学習課題と課題を解決するための学習計画を自分たちで決めることができた。物やお金だけでなく、時間も無駄にしないような買い方ができるように、これからも友達と一緒に考えていきたい。</p> </div> | <p>○家庭科の学び方が身に付いていることを実感できるように、生活の中から問題を見いだして課題を設定することができたことや、課題を解決するための学習計画を自分たちで決めることができたことを称賛する。</p>  |

(別紙)

3 指導及び評価の計画 (全5時間 : 本時第1時)

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

| 時  | 学習活動  | 知  | 思  | 態  |
|----|---|----|----|----|
| 1  | ・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合っ<br>て課題をつかみ、解決するための学習計画を立てる。<br>題材の課題 自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのように<br>買物をしたらよいだろうか。 |    | ●1 |    |
| 2  | ・買物をするときに必要なことを話し合い、買物の仕方を考える。  | ●1 | ●2 |    |
| 3  | ・自分が使うペンケースの模擬購入をする。  | ○2 |    | ●1 |
| 4  | ・家族が使うトイレットペーパーの模擬購入をする。  | ●2 | ●3 | ●2 |
| 家庭 | ・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について、意識していることや気を付けてい<br>ることを家族にインタビューする。<br>・自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり、それを基に実際に<br>購入したりする。         |    | ●4 | ●3 |
| 5  | ・家族にインタビューした内容や感想、実際に購入したこと等について話し合い、題材全<br>体の振り返りをする。  |    |    |    |